



TOTO水環境基金

第10回 助成団体活動報告

(2015年4月～2016年3月)



TOTO水環境基金とは

TOTOグループは、水まわりを中心とした、豊かで快適な生活文化を創造することで、社会の発展に貢献する企業を目指しています。未来に向けて、大切な水資源を有効に活用して社会が持続的に発展していくためには、節水技術の追求というTOTOの果たすべき役割とともに、NPOをはじめとする市民活動の果たす役割も欠かせません。そこでよりよい社会を築き支え、社会と共生することを目的に、2005年度にTOTO水環境基金を設立し、市民の取り組みを支援することになりました。

現在では、助成金による経済的支援だけでなく、TOTOグループ社員の活動参加や情報交換などを通じて、年々活動の輪が広がっています。

第10回募集概要

第10回TOTO水環境基金は下記のとおり募集・選考を行いました。

助成内容について

助成期間 2014年4月1日～2015年3月31日までの1年間

助成金額 総額 1,430万円(22団体)

過去の助成結果 第1回：総額1,090万円(12団体) 第4回：総額1,200万円(16団体) 第7回：総額 980万円(16団体)
第2回：総額1,560万円(12団体) 第5回：総額1,102万円(18団体) 第8回：総額1,007万円(20団体)
第3回：総額8,051万円(29団体) 第6回：総額 751万円(10団体) 第9回：総額1,300万円(25団体)
※第3回はTOTO創立90周年記念事業として助成額を増額、複数年(3年以内)を助成。

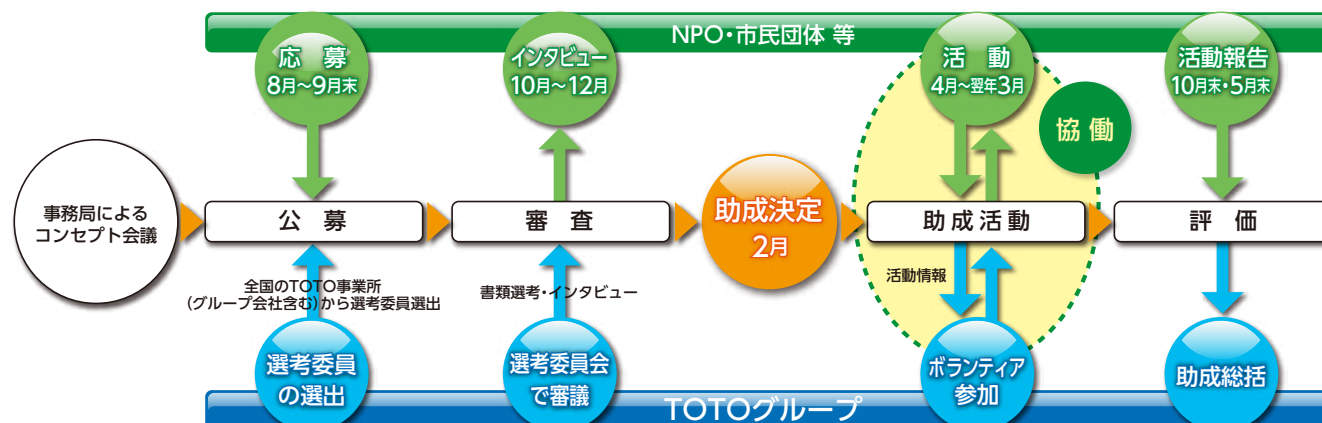
選考について

応募資格 (1) 営利を目的としない市民活動団体(法人格の有無や種類を問わない)
(2) 目的や内容が、特定の宗教や政治などに偏っていない団体
(3) 暴力団、暴力団員、暴力団関係者、総会屋その他の反社会的勢力と交際、関係等がない団体

選考方法 下記の基準にもとづいて選考を行いました。
(国内)
① 水環境や生物多様性の保全・再生、CO₂削減など地球環境保全に寄与するか。
② 目的や内容が明確で、プロジェクトの必要性・重要性・実現性が高いか。
③ 地域に住む人びとが活動の中心になっており、地域のくらしに根ざした活動となりえるか(継続性が期待できるか)。また、団体の活動に一般の方やTOTOグループ社員が参加し、協働で活動を進めることができるか。
(海外)
① 活動地域の課題解決に効果的なプロジェクトか。
② 目的や内容が明確で、プロジェクトの必要性・重要性・実現性が高いか。
③ 地域のくらしに根ざした活動となりえるか(継続性が期待できるか)。

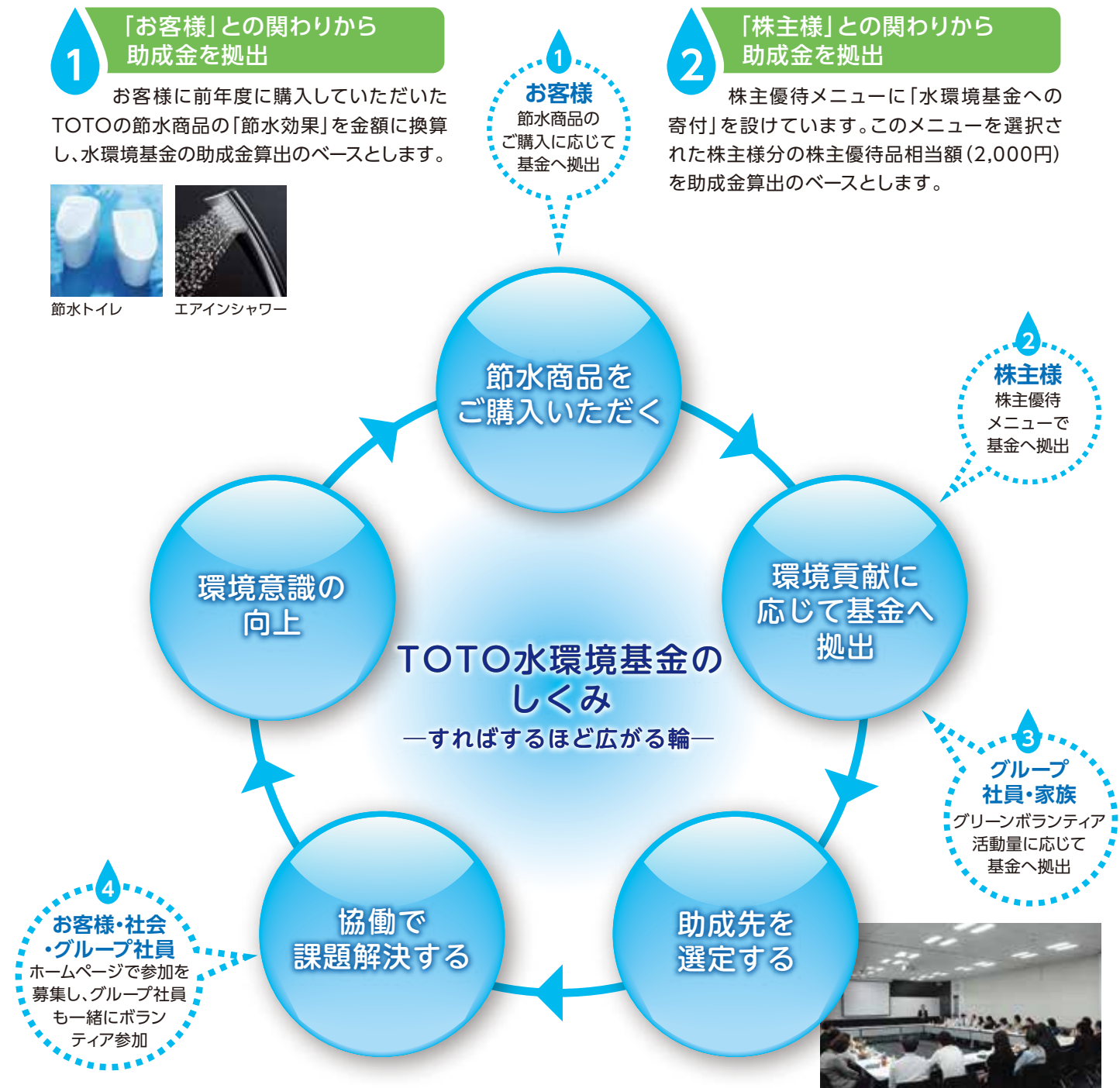
公募から助成までの流れ

公募から助成までのすべての段階にTOTOグループ社員が参画しており、協働による環境貢献活動の発展を目指しています。



環境貢献のサイクル

社会全体との協働を通じた環境貢献を目指して、ステークホルダーの皆様の環境貢献への関わりが増すほど、助成金が増えていく仕組みを展開しています。



4 「お客様」のボランティア参加を募集
助成団体のボランティア活動をTOTOホームページでご紹介し、一般のお客様の参加募集を行っています。皆様もお近くの活動にぜひご参加ください。
詳しくは「TOTO水環境基金」で検索

3 「TOTOグループ社員」のボランティア活動から助成金を拠出
TOTOでは、植樹や地域清掃などの環境に関わる社会貢献活動を「グリーンボランティア」と称し、TOTOグループ社員の参加を促進しています。前年度にグループ社員をはじめ家族やお取引先が参加したグリーンボランティア活動の実績を助成金算出のベースとします。

第10回助成活動の成果

助成金 総額 **1,430**万円 運営経費 **599**万円

■ 助成によって実施した活動

活動回数 **403**回

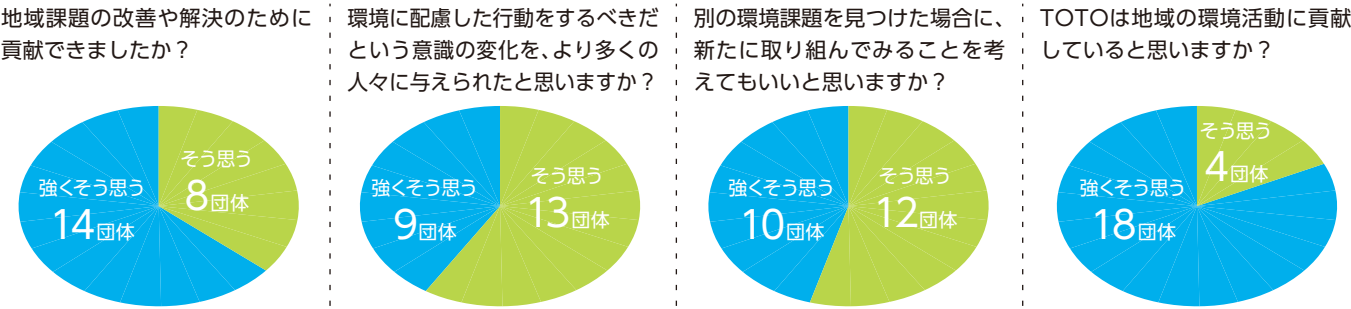
助成団体 **22**団体

活動にご参加いただいた人数 **15,429**人

うちTOTOグループ参加人数 **1,704**人



■ 人や地域へもたらした変化



助成した22団体へのアンケート調査結果より

第1回～第10回の累計

助成団体:180団体 助成金額:1億8,471万円

活動回数:1,487回(第7回以降) 参加人数:65,095人(第7回以降)

第10回 助成団体一覧

No.	プロジェクト名	団体名	主な活動地域	ページ
1	子どもから大人まで体験・なっとく広瀬川プロジェクト	カワラバン	宮城県仙台市	5
2	自然に還る いのちの循環プロジェクト2015～里山の水と緑といのちのつながり	NPO環～WA	茨城県東茨城郡	6
3	千葉県九十九里海岸林の機能強化を図る 補植と下草刈り	NPO法人 森のライフスタイル研究所	千葉県山武市	7
4	ホテルや水辺の生き物が住む環境づくりを皆の力で！	八千代市ほたるの里づくり実行委員会	千葉県八千代市	8
5	白子川源流の水辺環境保全と湧水の町づくり	白子川源流・水辺の会	東京都練馬区	9
6	西なぎさ発・東京里海エイド	DEXTE-K	東京都江戸川区	10
7	市民活動による生物多様性の豊かな海の森づくり	一般社団法人 海っ子の森	三重県北牟婁郡	11
8	大富山湿地帯の涵養と保護及び美佐野街道と伊野川とのふれあい場所の整備	大富山を愛する会	岐阜県土岐市	12
9	水と緑の輝く里山プロジェクト	金山里山の会	富山県射水市	13
10	家棟川の生態回廊の再生ービワマスが遡上する川にー	NPO法人 家棟川流域観光船	滋賀県野洲市	14
11	海と陸とのつながりを味わおう！	NPO法人 環境教育技術振興会	大阪府阪南市	15
12	「外堀川クリーン作戦」～まちづくりコミュニティ清掃～	NPO法人 アンビシャスコーポレーション	兵庫県姫路市	16
13	こども森林ボランティア養成講座「もりメイトキッズ」	NPO法人 もりメイト倶楽部Hiroshima	広島県大竹市	17
14	水と緑の美化プロジェクト	東朽網校区まちづくり協議会	福岡県北九州市	18
15	むなかたYの字作戦	NPO法人 改革プロジェクト	福岡県宗像市	19
16	よこしろ清流キャンペーン～後世へ伝える環境と文化～	横代校区まちづくり協議会	福岡県北九州市	20
17	いのちあふれる大新田海岸再生プロジェクト	NPO法人 水辺に遊ぶ会	大分県中津市	21
18	冷川の清掃活動	冷川のホテルと親しむ会	大分県別府市	22
19	第4回 氷川ダム湖かき殻まつりと氷川ダム“ホテルの郷”づくり	次世代のためにがんばろう会	熊本県八代市	23
20	ネパールの水衛生事情を日本の次世代に伝える事業	NPO法人 ウォーターエイドジャパン	ネパール サンクワサバ郡	24
21	カンボジア農村地域の植樹活動及び環境教育	World Assistance for Cambodia and Japan Relief for Cambodia	カンボジア バッタンバン州	25
22	モザンビーク・クワイサンガ地区3村への浄水器の配布と公衆衛生指導	モザンビークのいのちをつなぐ会	モザンビーク共和国 カーボデルガド州	26

活動報告

子どもから大人まで体験・なっとく広瀬川プロジェクト

団 体 名

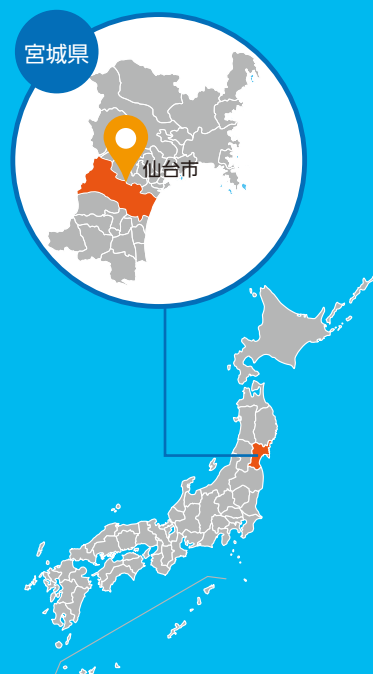
カワラバン

主な活動地域

宮城県仙台市

代 表 者

菅原 正徳



仙台市の市街地を流れる広瀬川で、小学校で定着しつつある川で遊び川に学ぶ機会を最大限に活かすべく、それらの機会の少ない、幼児、中学生、高校生、社会人を対象にした年代別の環境学習プログラムを作成・実践し、地域の環境保全や活性化の推進力となる人材の育成に資することを目指し、これまで2年の実践を行ってきました。2015年度は10回で約300名の市民にプログラムを実践し、対象毎のアプローチが間違っていないことを確認出来たとともに、新たなバリエーションも増やすことができました。

今後は各プログラムのブラッシュアップや完成したプログラムの周知を図るとともに、人材育成や他地域でのプログラム提供等に向けた準備も行うなど、継続して実施できる基礎固めを目指していきます。



まちあるき(川で生き物採取)



川トレッキング



エサ環境と魚類の適応



広瀬川的环境とゴミ

活動実績

参加人数

のべ **298**人
うちTOTO
グループ参加 **6**人

活動回数

10回

集めたゴミの量

45リットル袋
3袋

2

自然に還るいのちの循環プロジェクト2015 里山の水と緑といのちのつながり

団 体 名

NPO環〜WA

主な活動地域

茨城県東茨城郡

代 表 者

平澤 文子



活動報告

水環境や森林の保全活動を通して、自然の調和の中で生かされている人間を含む全ての生き物のいのちのつながりに気づき、持続可能な循環型の社会づくりに向けた行動を促すことを目的に、里山や休耕地での活動を継続的に実施しました。ラムサール条約登録地「涸沼」では勉強会や生きもの調査、ごみ拾い活動を企画、流域沿いの環境保全や人間活動と水環境の関連を考える取り組みも行いました。整備する里山を4haに拡大。同時に、間伐材、竹、落ち葉等の自然資源を利用した循環型農業を開始したほか、バイオマスエネルギーを日常生活に取り入れる様々なワークショップや県内外での普及啓発を行いました。県立高校での森林整備実習を月次で、その他、大学院生向けの実践演習、小学生向けの里山体験学習など、体験型環境教育プログラムを展開。被災地での復旧支援やチャリティイベントも実施しました。



里山保全体験活動



里山整備



常総市被災地支援



小学校向け環境教育

活動実績

参加人数

のべ **652**人
うちTOTO
グループ参加 **47**人

活動回数

34回

集めたゴミの量

45リットル袋
8袋

整備面積

竹駆除 **1.3**ha
竹利用約 **15**t
間伐 **5**m³ 間伐材利用 **5**m³

活動報告

千葉県九十九里海岸で東日本大震災による津波の被害を受けて枯れた保安林を整備し、約2万本の植樹を行ってきました。下草刈りを続けた結果、大半の苗木は良好に活着していますが、部分的に赤く枯れてしまったところも出てきています。枯れたままではバランスの良い海岸林ができず、飛砂防止や防風等の機能が損なわれてしまいます。

そこで枯れた部分に苗木の補植（植樹）を行い、苗木の隙間を埋めることで、海岸林の機能強化をめざすとともに、活動地全体の下草刈り活動を行い、被災地の生活環境再生を図りました。



目印棒の設置



植樹エリアの下草刈り



海岸林育成のための草刈り



抵抗性クロマツの植樹

活動実績

参加人数

のべ **502**人
うちTOTO
グループ参加 **59**人

活動回数

11回
植樹
抵抗性クロマツ
3,000本

下草刈りの面積

2.6ha

伐採と地拵えの面積

0.3ha

植樹面積

0.45ha

Entry 4

ホタルや水辺の生き物が住む環境づくりを皆の力で！

団体名

八千代市ほたるの里
づくり実行委員会

主な活動地域

千葉県八千代市

代表者

金室 彰

千葉県

八千代市

活動報告

ビオトープ18年目のほたるの里は、木々が茂り景観的な環境ができつつあります。かつて生息していたヘイケボタルの再生と多様な生き物の保全を、市民・事業者・行政とのグラウンドワーク方式で活動しており、2015年度は、月1回の整備作業や観察会、ザリガニ駆除、田植え、稲刈り、先進地視察などを実施しました。整備作業には、TOTOグループ社員の支援のもと実施しました。成果として、3年ぶりに約60匹の幼虫を6月に放流した結果、7月下旬の夜の観察会で25匹ほどの飛翔が見られ、2015年12月に環境省が「生物多様性保全上重要な里地・里山」に八千代市ほたるの里を選定しました。



湿地で田植え



里内の草刈り



トンボ池の汚泥回収



環境整備

活動実績

参加人数

のべ **361**人
うちTOTO
グループ参加 **70**人

活動回数

14回

駆除したザリガニ

28匹

放流したヘイケボタル

60匹

活動報告

一級河川・白子川の源流を活動拠点として、湧水と水辺環境の保全活動を開始して14年目を迎えました。これまでに培った地域との絆や市民活動としてのノウハウ等を有効活用して、地元の学校・子ども・区民・商店に川の動物が加わって「みんなの白子川」という思いを共有できる湧水の町づくりを目指して、川の清掃や生き物調査を定期的に行っています。

全体的には目的（白子川源流の水辺環境をより多くの人たちとともに守り、地域にとっての白子川の大切さの認識を高めること）が、ほぼ達成できた1年間でした。

その中から、新しい視点として、湧水の長期的な保全には川の周辺に「森」が必要との認識から「源流の森プロジェクト」がスタートしました。また、当会独自でバケツを使って川底のドロやアオミドロの除去を実施したことで水辺環境改善につながりました。恒例の源流まつりは、地域の800人程が参加し楽しく交流できました。



小学校自然環境教育

めだか放流



第15回 白子川源流まつり

定例の川掃除

活動実績

参加人数

のべ **206**人
うちTOTO
グループ参加 **54**人

活動回数

12回

集めたゴミの量

45リットル袋
65袋

除去したドロ

アオミドロ
バケツ**200**杯
川底のドロ
バケツ**150**杯

団体名

白子川源流・水辺の会

主な活動地域

東京都練馬区

代表者

菅沢 博

東京都

練馬区

Entry 6

西なぎさ発・東京里海エイド

団体名

DEXTE-K

主な活動地域

東京都江戸川区

代表者

橋爪 慶介

東京都

江戸川区

活動報告

葛西海浜公園西なぎさにおいて、公園を利用する人たちに心地よく使用していただくとともに、西なぎさに生息する多様な生物・鳥類の漂流ゴミによる被害を最小限にとどめることを目的として、春から秋にかけて西なぎさに漂着するゴミの清掃活動を実施しました。

2015年度は、のべ8日間活動を実施することができ、参加した人数は315名となりました。

収集した漂着ごみの総数は、45リットルゴミ袋×254袋におよび、その他にも粗大ごみや注射器、使い捨てライターなどを代表とする危険ごみも複数収集することができました。

都心に近い汽水域の水辺で、活動をしながら様々な種類の生物を観察できる一方で、漂着ごみが数多くあることを実感でき、都市でのライフスタイルを再考するきっかけづくりとなっている点が本活動の特徴であり、その様子が参加者の感想から読み取ることができました。



西なぎさクリーンアップ

漂着ごみ



生物の観察

収集した漂着ごみ

活動実績

参加人数

のべ **315**人
うちTOTO
グループ参加 **156**人

活動回数

9回

集めたゴミの量

45リットル袋
254袋

活動報告

三重県東紀州地域を中心に、海・山・川の自然と水環境保全活動を地域住民とともにに行っています。

本プロジェクトでは主に3つの事業を行いました。

- ①豊かな海の森づくりのための藻場を保全する新たな工法として、市民の手で設置できる石詰め礁による藻場礁の造成活動を行いました。この活動により多様な小型の海洋生物が集まる海の森の再生が期待できます。
- ②尾鷲市行野浦にて、海岸、海中、磯の清掃活動および環境教育活動を実施し、活動後アジの干物作りの実習を行いました。
- ③海の植林（藻場再生事業）では、市民、漁師および海っ子の森メンバーにより自然石を使ったカジメ苗、アラメ苗を植林しました。

今後も海藻林の形成維持と磯焼け海域での増殖を図っていきます。



尾鷲海岸清掃活動



神宮の森保全現地学習活動



石詰の礁による藻場礁の造成活動



紀北町石詰礁活動

活動実績

参加人数

のべ **193**人
うちOTO
グループ参加 **77**人

活動回数

13回

集めたゴミの量

45リットル袋
14袋

海の植樹

アラメ・カジメ
70本

団体名

一般社団法人
海っ子の森

主な活動地域

三重県北牟婁郡

代表者

山下 達己

三重県

北牟婁郡

活動報告

大富山湿地帯の涵養と 保護及び美佐野街道と 伊野川とのふれあい場所の整備

団体名

大富山を愛する会

主な活動地域

岐阜県土岐市

代表者

庭野 雅人

岐阜県

土岐市

活動報告

生活の場の近くにある大富山には、貴重な植生物が生育する湿地や古き時代に人々が往来した美佐野街道があります。この大富山を守り育て、地域の多くの人々の憩いの場所となるよう整備管理することを目標に活動しつつ、希少樹種である「シデコブシ」の保護にも尽力しました。

2015年度は、他の樹木が覆いかぶさり元気がなかった湿地帯のシデコブシを再生するため、雑木の伐採を大規模に実施。伐採後は、風通しや日当たりが改善され、この4月には昨年以上の花を付けるまでに回復しました。その他、定例となった街道や湿地を維持するための草刈りを実施したり、桜の木の植林や「美佐野街道を歩こう」会を実施、大富山の魅力の情報発信にも努めました。



美佐野街道を歩こう会



伐採作業



草刈り作業



大富山植樹

活動実績

参加人数

のべ **308**人
うちOTO
グループ参加 **51**人

活動回数

8回

植樹

桜
50本

整備面積

雑木伐採
20m²

Entry 9

水と緑の輝く
里山プロジェクト

団 体 名

金山里山の会

主な活動地域

富山県射水市

代 表 者

前川 修

富山県

射水市

活動報告

射水市の南部に位置する下条川流域は、1955年代以降に樹木が利用されなくなり荒れた里山となりました。里山の樹木は30年程度で伐採することが豊かな水循環を形成し環境保全上も有効となりますが、現在の下条川流域に位置する射水南部丘陵地は原生林化し、水循環に良好とは言えない状況となっています。

そこで、良好な水と緑に輝く里山に松茸等の茸が生え、ホタルが乱舞し、冬には白鳥が飛来する環境を守るために活動しています。伐採した樹木は薪にし、エネルギー資源として活用を図ります。また、伐採木を茸原木として里山に配置することで、多種多様な茸が生え、カブトムシ等も育ち、子供達が遊び学べる里山にします。



里山保全教室



茸原木づくり



里山涵養林の樹木伐採



里山研修と新作り

活動実績

参加人数

のべ **486**人
うちTOTO
グループ参加 **36**人

活動回数

40回

整備面積

里山涵養林
7,000m²
林道
1,250m
伐採木の再利用
350本

Entry 10

家棟川の生態回廊の再生
―ビワマスが遡上する川に―

団 体 名

NPO法人

家棟川流域観光船

主な活動地域

滋賀県野洲市

代 表 者

北出 肇

滋賀県

野洲市

活動報告

野洲市の8割の川が合流して琵琶湖に注ぐ家棟川で、市民・子どもに参加を呼びかけ、水源の山、森、川、田畑、びわ湖を一体とした環境保全活動を実施しました。

2015年8月に、家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクトを結成。ビワマスの産卵床を4ヶ所作成し、ビワマスがそこで産卵しました。また、3月には稚魚が確認できました。稚魚の確認は調査を始めてから最初のことであり大きな成果を生み出すことができました。

また家棟川の写真集を作り、市内すべての学校やコミュニティセンターに配布し、要請があれば講演に応えられる体制をつくりました。

家棟川の生態調査は継続して実施し、川やびわ湖のゴミ拾いを精力的に行うことで、屋形舟での遊覧ができる環境を維持しています。2015年度の乗船者は499人でした。

水源の山での植樹を行い、山からの地下水がビワマスに良い効果を与えています。



田植え体験



生き物観察会



家棟川清掃活動



家棟川ビワマス産卵場作り 産卵床造成

活動実績

参加人数

のべ **1,836**人
うちTOTO
グループ参加 **77**人

活動回数

21回

集めたゴミの量
450kg

植 樹

コナラ
270本
ヨシ苗
1,500ポット
60マット

活動報告

陸と海のそれぞれからの自然の恵みを受けて育つ”米”と”海苔”を自分たちで育て味わうことで、海と陸との循環を実感してもらい、地域の生活に根ざした持続可能な環境保全のあり方を考え伝えていく事を目的として、2015年6月～2016年3月までの計6回のプログラムで実施しました。なお、本プログラムを通じて、地産地消の促進や地域の埋もれている食材（漁業資源）の発信による地域の活力向上を目指して、地域の主体となり得る漁業協同組合との連携や、持続可能な仕組みを構築するために阪南市とも連携して2014年度より5ヶ年計画で実施しています。

本プロジェクトを通して、生産することの苦勞や喜びを共有するとともに、田植えや海苔漉きの体験を通じて、地域の歴史や文化を伝えることができたと考えています。



タコ捕り体験



わらじ作り



ノリ漉き体験



田んぼの生き物観察

活動実績

参加人数

のべ **1,099**人
うちTOTO
グループ参加 **147**人

活動回数

6回

団体名

NPO法人
環境教育技術振興会

主な活動地域

大阪府阪南市

代表者

関藤 博史

大阪府

阪南市

活動報告

「外堀川クリーン作戦」 まちづくりコミュニティ清掃

団体名

NPO法人 アンビシャス
コーポレーション

主な活動地域

兵庫県姫路市

代表者

山本 哲司

兵庫県

姫路市

活動報告

姫路城本格築城の一環として歴史のある「外堀川」。播磨の初代藩主となった池田輝政（異名を三左衛門）は、播磨灘から姫路城外濠までを運河を開削し、軍船を入れるとともに舟運を興そうとしました。しかし播磨灘と外濠とでは水位差が10m以上あり、城付近ではかなり掘り下げないと運河として機能しないことや、輝政が1613年(慶長18年)に死去したことなどから、計画は放棄され、流路のみが残りました。戦後に入ると水質が悪化しドブ川となり、このため1962年に都市計画で「運河公園」を立案、汚泥の除去などに努め、1974年には「二級河川外堀川」に指定されましたが、現在は環境が悪化し、市民や行政の悩みの種となっています。その放置された課題に切り込み、本来の風情ある川を取り戻すべく活動をしています。



河川環境保全活動



外堀川清掃活動



ボートでゴミ拾い



クリーン作戦

活動実績

参加人数

のべ **218**人
うちTOTO
グループ参加 **55**人

活動回数

7回
(+啓発パトロール8回)

集めたゴミの量

45リットル袋
440袋

活動報告

森づくり活動体験を通して豊かな心と森を育てていくために、手つかずで荒れた森を環境教育の場として活用し、2015年度「もりの達人 木こりになろう!」をテーマに、「まきやかまどで森のクッキング」として企画立案、年4回開催しました。また、スタッフのスキルアップのための講習会と見学会を年2回実施、多くの方に参加していただきました。スタッフとして大学生が毎回8~10人程度参加し、子供たちに優しく接してくれるので大変好評でした。しかし環境教育研究部会のプランニング会議の参加者が少ないことに問題が残っています。

この松ヶ原フィールドの3か所の中に、まだ手つかずの人工林があり、今後は森林ボランティアの本来の活動である、間伐・枝打ちなどを多く組み入れていかなければならないと考えています。



杉・檜の間伐



森林整備



森のかまどの火入れ



第4回もりメイトキッズ講座

活動実績

参加人数



のべ **250**人
うちTOTO
グループ参加 **11**人

活動回数



19回

団体名

NPO法人
もりメイト倶楽部Hiroshima

主な活動地域

広島県大竹市

代表者

見勢井 誠

広島県

大竹市

14

水と緑の美化プロジェクト

団体名

東朽網校区
まちづくり協議会

主な活動地域

福岡県北九州市

代表者

柳田 克喜

福岡県

北九州市

活動報告

東朽網は、水源地である水晶山、そこから湧き出る豊富な水をたたえ曾根平野へ運ぶ貯水池である昭和池、住民の生活環境を流れる朽網川、そして豊かな養分を海へと送り出す河口から干潟へと、それぞれが地域の宝ともいえる一連の水環境を有した稀な地域です。東朽網の豊かな自然を通して環境の変遷や地域の未来を住民全体で考えていくうえで、大人から子どもまで一緒に学ぶ体験型学習(朽網川や河口清掃、カブトガニ産卵観察会、水晶山清掃登山、昭和池清掃と植樹など)を実施しました。活動の目的は、水環境を次世代へ守り繋ぎ、地域の宝の大切さを共感できる環境意識の高い人づくりを行っていくことです。毎回、TOTOグループ社員の皆様や一般ボランティアの参加をいただいて、大規模で効果的な活動に繋げることができました。今後も、ふるさと東朽網を愛する心を育み、継続して水環境を守り繋げる活動に取り組めます。



朽網川河口の漂着海藻類、漂着ごみの除去



昭和池クリーン作戦



水晶山清掃登山



カブトガニの産卵観察会

活動実績

参加人数



のべ **665**人
うちTOTO
グループ参加 **144**人

活動回数



32回

集めたゴミの量



45リットル袋
228袋

植樹



紫陽花 **95**株
陽光桜 **11**本

活動報告

宗像の自然環境は美しく雄大ですが、近年海岸や河川の環境は著しく低下しています。世界遺産候補にも選ばれた宗像が誇る大島、地島、釣川の美しい自然環境を後世に残していくことの必要性を感じたため、本プロジェクトを実施しました。1年間のプロジェクトで計7回の活動を行い、1045キロの漂着ごみ、廃棄されたごみ、約300キロの漂着木材を回収することができました

プロジェクトに関わるメンバーは20～30代の若い世代を中心に構成。地域に関わるきっかけを求めている、地域のために何かしたいという人たちに、「Yの字作戦」が地域とつながるための接点を作ることができました。しかしながら、自然環境の改善には、まだまだ多くの方の協力や環境意識の定着が必要であり、息の長い活動として地域に定着させる必要性を感じています。



深浜海岸清掃



クリーンアップでドラム缶



ゴミ拾いの様子



釣川クリーンアップ

活動実績


参加人数

のべ **164**人
うちTOTO
グループ参加 **57**人

活動回数

7回

集めたゴミの量

 **1,065**kg

漂着木材の回収

 **300**kg



活動報告

よこしろ清流キャンペーン 後世へ伝える環境と文化

団体名

横代校区
まちづくり協議会

主な活動地域

福岡県北九州市

代表者

大塚 勝治



活動報告

横代校区では、稗田川をはじめ大小合わせて4本の川があります。子供たちに川に慣れ親しみ遊んでもらうことで、川の重要性・水環境の保全の必要性を理解し興味を持ってもらうことを一番の目的に取り組んできました。まずは遊ぶための環境づくりとして現状の川を清掃することから始めました。TOTO水環境基金の助成のおかげでゴム長靴をそろえることができ、川の中に入り川底のゴミを拾うことができました。子供たちと一緒に清掃活動に参加した大人も童心に帰り、子供たちとともに川がきれいになっていく喜びを感じ、川への関心も高まって水環境の重要性を認識してもらえました。この高まった関心を維持し、次世代にきれいな川を残していけるようにこれからもこの活動を続けていきたいと思っています。



まち美化ゴミゼロキャンペーン



魚釣り王選手権



清流キャンペーン・壁画除幕式



カヌー体験教室

活動実績

参加人数

のべ **1,300**人
うちTOTO
グループ参加 **5**人

活動回数

5回

集めたゴミの量

 **1,500**袋
40リットル袋

活動報告

白砂青松とした海岸と干潟が広がる大新田海岸は、かつては市民の憩いの場であり、豊かな海のシンボルでしたが、松林の荒廃やアサリ激減により賑わいを失い現在に至っています。一方で、カブトガニやアオギスなどの希少種も多く、国内屈指の生物多様性を誇る場所として近年注目され、毎年小学生の環境学習の場や大学生の研究の場として盛んに活用されています。水を涵養し、沿岸の多様性を支える役割を持つ海岸林を再生する活動を通じ、干潟環境を保全し景観を復元するとともに、環境学習や憩いの場を児童や市民に提供することを目的として活動しました。



下草刈り



松林再生作業



ビーチクリーン



干潟観察会

活動実績

参加人数

のべ **1,256**人
うちTOTO
グループ参加 **585**人

活動回数

26回

植樹

抵抗性松
20本

整備面積

松林
3,400m²



活動報告

Entry 18

冷川の清掃活動

活動報告

温泉湧水量全国一の温泉地にあって、温泉水の流れ込まない市内唯一の河川“冷川”。ここに棲む多くの生物、その中でも特にホタルの保護育成を行い、地域住民をはじめ、多くの人々にホタル鑑賞をしてもらうために、多くのボランティアの力を借りて自然環境の整備に取り組みました。

年間通して月2回、または3回の作業日を設定して実施。TOTOグループ社員・ご家族の方々をはじめ、立命館アジア太平洋大学の教授・学生等作業への参加者も昨年に比べて増え、また作業機器を新たに購入したことなどにより、作業能率も格段に向上し成果を上げてきたと思われます。

作業の内容として、冷川の草刈り作業、川のごみの除去、ホタルのエサのカワニナの放流、カワニナのエサやりなどの作業を精力的に行ってきました。その結果、冷川の環境整備が進み、ホタルの出現数が年々増えてきました。



草刈り作業



草刈り・ゴミの除去



水路の清掃作業



カワニナの放流

活動実績

参加人数

のべ **450**人
うちTOTO
グループ参加 **60**人

活動回数

28回

集めたゴミの量

45リットル袋
210袋



活動報告

産学官民の共同体制で実行員会を設け、ホタル乱舞のために生態系とホタルの育成環境について、流域の4つの小学校(135人)でホタルの餌となるカワニナの養殖や出前授業を実施しました。後日ホタル乱舞作戦に向けたダム湖での親子環境学習会を開催し、流域各校からの親子が85人参加しました。夏休みには、「氷川ダム親子デイキャンプ」(参加人80人)において、野鳥・植物観察、山菜料理教室など自然と触れ合いながら中山間地の人・文化との交流を設けました。また、氷川ダムにおいては長期的に水質改善とホタルの復活を目指す「ホタル乱舞作戦」(旧:「氷川ダムかき殻まつり」)を八代農業高校の生徒と実施しました。ホタル乱舞のために、ホタルの餌であるカワニナを地域小学校で飼育することで地域の絆も生まれました。



環境学習会



氷川ダム親子デイキャンプ



かき殻まつり(水質浄化)活動



氷川ダム管理所で環境体験

活動実績

参加人数

のべ **1,000**人
うちTOTO
グループ参加 **3**人

活動回数

58回

集めたゴミの量

50リットル袋
80袋

ネパールの水衛生事情を日本の次世代に伝える事業

団体名

NPO法人
ウォーターエイドジャパン

主な活動地域

ネパール サンクワサバ郡

代表者

滝沢 智

ネパール

サンクワサバ郡

活動報告

ネパール東部のサンクワサバ郡山奥の丘陵地帯は、ネパールの中でも水・トイレの普及率が最も低く、この地域の2村の人々が、安全な水とトイレを使えるようになること、衛生習慣を身に着けることを目指し、給水設備の設置、トイレや手洗いの重要性を伝える衛生教育を実施しました。また、ネパールを含む途上国の水・衛生の状況について日本人々、特に子供たちに関心を持ってもらうために、ウォーターエイドオリジナル教材を使用した出前授業を担うボランティア「ウォーターエイド・スピーカー」の育成に取り組みました。スピーカー講習会を2度実施したほか、勉強会やファシリテーション練習会を実施、19名の「ウォーターエイド・スピーカー」が誕生。このスピーカーが実施する出前授業を通じて、100人を超える人々に、途上国の水・衛生について伝えることができました。



新しくできたタップスタンドで手を洗う人々(ネパール)



パイプを引くための溝を掘る村の人々(ネパール)



新しくできたタップスタンドを喜ぶ子供たち(ネパール)



講習会を受講して「ウォーターエイド・スピーカー」になった皆さま(日本・東京)

ネパールの写真: Water Aid/Mani Karmacharya

活動実績

参加人数

のべ **130**人
うちTOTO
グループ参加 **4**人

受益者数

7,500人

活動回数

6回

活動実績

給水設備 **19**基設置
野外排泄ゼロ
9コミュニティ
水・衛生委員会の立ち上げ
52グループ
衛生意識向上講習会
10コミュニティ

活動報告

カンボジアの農村地域は水道が整備されておらず、井戸や雨水・ため池・川などを利用しています。当団体が建設し、公立学校として寄贈した小中学校で環境教育を行い、井戸の新規設置および使用できない井戸・トイレの修理、植樹、苗木づくり、環境教育、清掃等を行いました。水道が整備されていない農村地域では、井戸の水だけでなく、ため池を多く利用しており、今回活動を行った地域でも井戸が枯渇しているため、ため池や貯水タンクを利用している学校が多く存在していました。学校の希望を優先し、井戸やトイレの修理を予算内で対応、パイプ設置などは生徒も参加をして作業を行いました。環境教育は趣旨を訪問前に説明し、クメール語で作成した資料を配布、担任教師より授業の一環で行うことで学校主体で行うように心がけました。乾季（2月から5月上旬）までの水不足は深刻で、雨期（7月から10月）の前に井戸トイレの修理や、苗木の配布を行い、衛生の向上、環境保護の意識付け、苗木の作成、木を植える活動を学校の行事として行いました。



小学校の井戸が修理され使用が可能



小学校でモリンガの苗木作成し、持ち帰り自宅で植樹



小学校で雨季前に苗木の配布



校庭の清掃作業

活動実績

参加人数

のべ **3,500**人

受益者数

6,156人

活動回数

33回

活動実績

45リットル袋 **60**袋

・植樹:モリンガ、ロンガン、マンゴー、オレンジなど計**5,095**本
・井戸新規設置**4**校、井戸修理**15**校、トイレ修理**5**校、合計**24**か所、**22**校
・モリガンの苗木作り**3,000**人
・環境教育:**25**校、**3,200**人

活動報告

モザンビーク・ クイサンガ地区3村への 浄水器の配布と公衆衛生指導

団体名

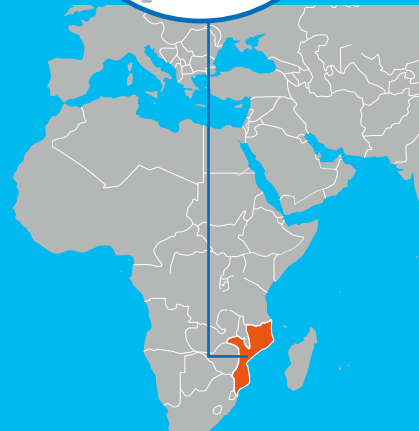
モザンビークの
いのちをつなぐ会

主な活動地域

モザンビーク カーボデルガド州

代表者

榎本 恵



活動報告

モザンビーク共和国・北部カーボデルガド州の村では、水や公衆衛生設備が未だ完備されておらず、村民は飲食・洗濯等全ての生活用水に安全性が確保されていない川水を用いており、下痢やコレラが慢性化しています。当会では、浄水器を500個を製作・4村に配布、公衆衛生トレーニングを行い、村人に安全な水を供給。公衆衛生意識の向上と実践を行うことで、疾病率・死亡率の低下を図りました。

浄水器導入前には、3村で30名がコレラにより死亡していましたが、2015年6月の浄水器導入後、コレラが発生しやすい雨期を経て、2016年4月時点でコレラによる死者は出ていません。



タパラ村で浄水器の使い方講習をし、参加できなかった世帯に浄水器を配布



ンタブアテ村で川の水の簡易水質調査を村民と実施



インド製カートリッジとタンザニア製バケツで浄水器を製作・配布



トロロ村で浄水器の配布と使い方講習の他、石鹸づくりのワークショップ実施

活動実績

参加人数

のべ **240**人

受益者数

3,240人

活動回数

4回

活動実績

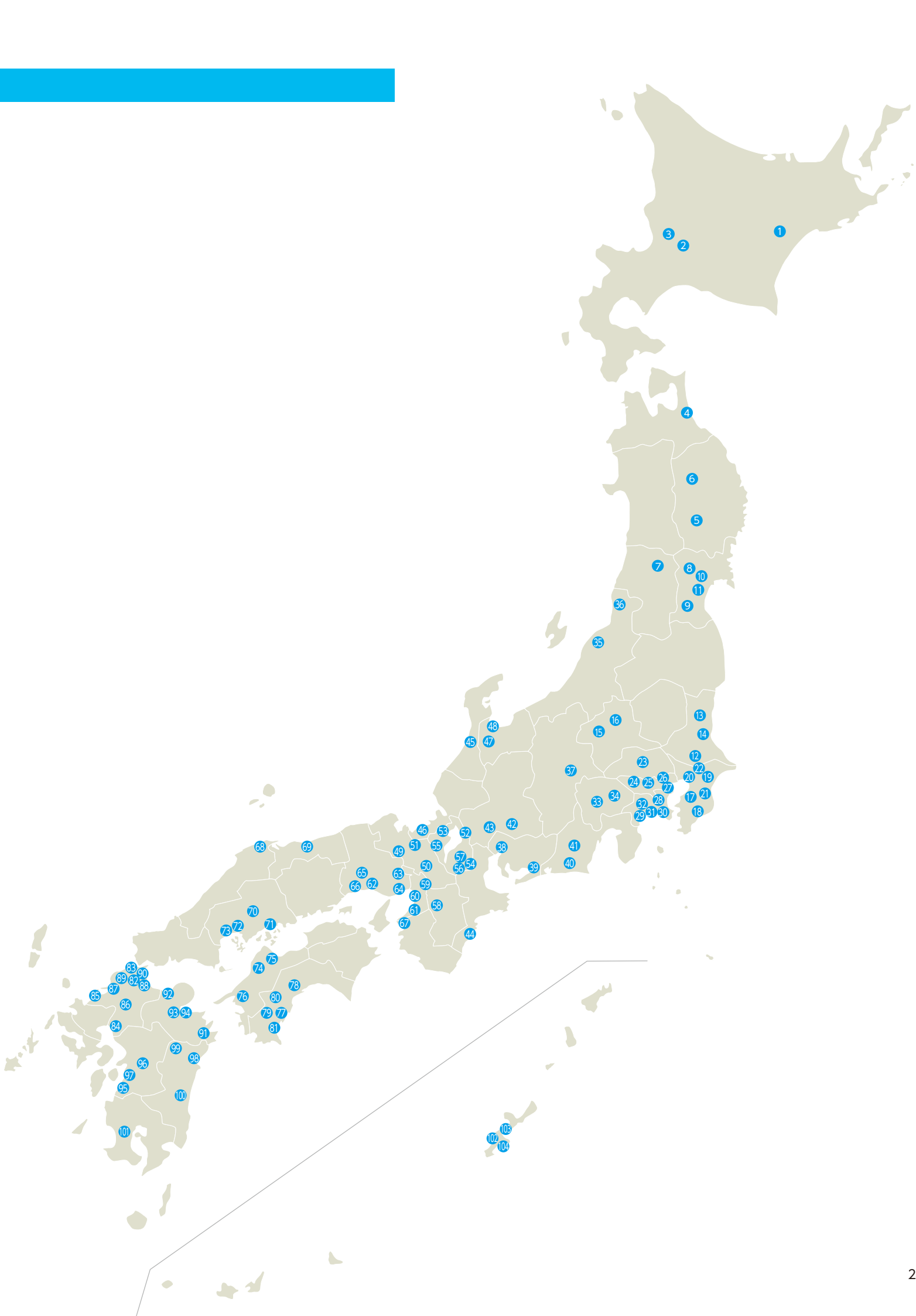
浄水器 **4**村に**500**個

公衆衛生トレーニング **4**村 **240**人

コレラ死亡者 **0**名 ※2016年4月時点

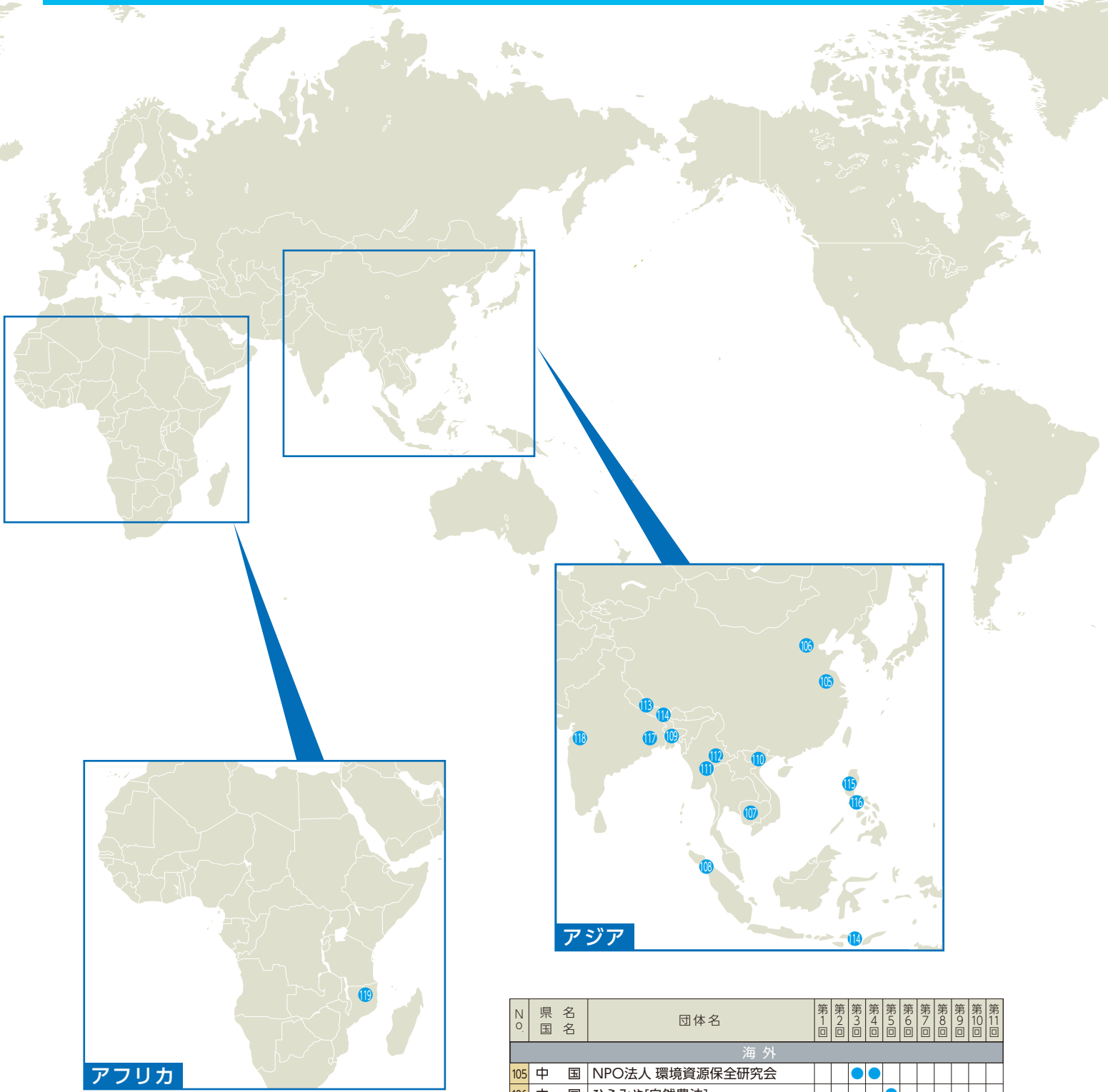
助成団体一覧(国内)

N O	県 名	団体名	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回	第 10 回	第 11 回
北 海 道 ・ 東 北													
1	北海道	ばんばん ばんぶきん	●	●	●	●							
2	北海道	NPO法人 山のない北村の輝き							●		●		●
3	北海道	NPO法人 森をたてようネットワーク								●			
4	青 森	小川原湖自然楽校					●						
5	岩 手	NPO法人 わが流域環境ネット		●	●								
6	岩 手	NPO法人 紫波みらい研究所(代表団体)			●	●							
7	山 形	鮭川村自然保護委員会		●	●								
8	宮 城	梅田川せせらぎ緑道を考える会		●	●	●							
9	宮 城	NPO法人 川崎町の資源をいかす会				●							
10	宮 城	NPO法人 杜の都仙台ナショナルトラスト						●					
11	宮 城	カワラバン									●	●	●
関 東 ・ 甲 信 越													
12	茨 城	NPO法人 WaterDoors						●					
13	茨 城	御前山ダム環境センター								●			
14	茨 城	NPO 環〜WA									●	●	●
15	群 馬	NPO法人 緑の家学校	●										
16	群 馬	さなざわ里山だんだんの会							●				
17	千 葉	NPO法人 ふるさと生きがいづくり		●	●	●							
18	千 葉	NPO法人 印旛沼広域環境研究会	●										
19	千 葉	NPO法人 印旛野菜いかだの会				●	●						
20	千 葉	八千代市ほたるの里づくり実行委員会								●		●	●
21	千 葉	NPO法人 森のライフスタイル研究所									●	●	●
22	千 葉	NPO法人 しろい環境塾											●
23	埼 玉	NPO法人 比企自然学校							●		●		
24	東 京	ぜんかんれん		●									
25	東 京	白子川源流・水辺の会						●	●	●	●	●	
26	東 京	DEXTE-K									●	●	●
27	東 京	NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム										●	
28	神奈川	NPO法人 おさかなボストの会							●	●			
29	神奈川	浜っ子トラストチーム	●										
30	神奈川	ほのぼのビーチ茅ヶ崎			●	●	●						
31	神奈川	NPO法人 ヨコハマ倉造空間	●	●	●								
32	神奈川	NPO法人 海の森・山の森事務局											●
33	山 梨	NPO法人 えがおつなげて		●									
34	山 梨	NPO法人 ゼロファクトリー				●							
35	新 潟	NPO法人 ねっとわーく福島潟			●								
36	新 潟	高根フロンティアクラブ			●		●	●	●		●		
37	長 野	ステップアップゼミ			●	●	●						
東 海 ・ 北 陸													
38	愛 知	ネイチャークラブ東海			●	●							
39	愛 知	虹のとびら									●		●
40	静 岡	NPO法人 浜松NPOネットワークセンター	●										
41	静 岡	NPO法人 はるの山の楽校								●			
42	岐 阜	NPO法人 MY						●					
43	岐 阜	大富山を愛する会									●	●	●
44	三 重	一般社団法人 海っ子の森							●	●	●	●	
45	石 川	金沢エコライフ事業実行委員会	●										
46	福 井	アマモサポーターズ			●	●	●						
47	富 山	福光ふるさとの森を再生する会				●							
48	富 山	金山里山の会								●		●	●
近 畿													
49	京 都	水源の里連絡協議会			●	●	●						
50	京 都	NPO法人 プロジェクト保津川				●			●				
51	京 都	ほたる祭改善プロジェクト委員会					●						
52	滋 賀	NPO 旅するおさかなサポーター			●								
53	滋 賀	NPO法人 夢工房	●										
54	滋 賀	清水川湧遊会				●	●						
55	滋 賀	たかしま有機農法研究会				●							
56	滋 賀	神山区いい顔づくり委員会					●						
57	滋 賀	NPO法人 家棟川流域観光船						●	●	●	●	●	●
58	奈 良	景観ボランティア明日香			●	●	●	●					
59	大 阪	NPO法人 花だんごネットワーク			●	●	●						



N O	県 名	団体名	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回	第 10 回	第 11 回
近 畿													
60	大 阪	NPO法人 ふくてつく		●									
61	大 阪	NPO法人 環境教育技術振興会								●		●	
62	兵 庫	「峠池」を考える会	●										
63	兵 庫	武庫川の治水を考える連絡協議会	●										
64	兵 庫	松蔭高等学校 Blue Earth Project				●	●						
65	兵 庫	高砂海浜公園海辺の保全集いの会								●	●		
66	兵 庫	NPO法人 アンビシャスコーポレーション								●	●	●	
67	和歌山	NPO法人 ゴミンゴ・ゴミ拾いネットワーク											●
中 国 ・ 四 国													
68	島 根	NPO法人 飯梨川再生ネット									●		
69	鳥 取	山王さん周辺活性化協議会			●								
70	広 島	酒屋地区自治会連合会			●	●	●						
71	広 島	大羽谷川流域の環境を考える会			●					●			
72	広 島	NPO法人 もりメイト倶楽部Hiroshima								●	●	●	
73	広 島	京橋川かいわい あしがるクラブ											●
74	愛 媛	宮前川クリーンネット		●			●						
75	愛 媛	エコ・ライフ夢幻村			●	●							
76	愛 媛	久保・肱川源流を想う会								●			
77	高 知	㟚西土佐環境・文化センター 四万十楽舎	●										
78	高 知	こうち森林救援隊			●	●	●						
79	高 知	しまんと黒尊むら			●	●	●						
80	高 知	大正中津川「やまびこ会」					●						
81	高 知	橘若者会					●						
九 州													
82	福 岡	中谷地区まちづくり協議会	●		●	●	●	●	●	●			
83	福 岡	NPO法人 つやざき千軒いきいき夢の会	●										
84	福 岡	アクアリング委員会		●	●	●	●		●		●		
85	福 岡	火山里山保全交流会					●						
86	福 岡	NPO法人 遠賀川流域住民の会					●						
87	福 岡	香月・黒川 ほたるを守る会							●	●	●	●	
88	福 岡	東朽網校区まちづくり協議会								●	●	●	
89	福 岡	NPO法人 改革プロジェクト										●	●
90	福 岡	横代校区まちづくり協議会										●	
91	大 分	佐伯広域森林組合				●							
92	大 分	NPO法人 水辺に遊ぶ会									●	●	
93	大 分	冷川のホテルと親しむ会							●	●	●	●	
94	大 分	関の江海岸の自然を守る会											●
95	熊 本	やまんたろ♥かわんたろの会	●	●									
96	熊 本	どんぐりプラットホーム			●	●	●						
97	熊 本	次世代のためにがんばる会							●	●	●	●	
98	宮 崎	MFV会			●								
99	宮 崎	高千穂森の会					●						
100	宮 崎	一般社団法人 日本スキムボード協会											●
101	鹿 児 島	郡山マグニチュード21					●						
102	沖 縄	宜野湾の美ら海を考える会			●								
103	沖 縄	おきなわ環境塾				●							
104	沖 縄	NPO法人 珊瑚舎スコーレ	●				●						

第 1 回： 2005年 10月～2006年 9月
第 2 回： 2006年 10月～2007年 9月
第 3 回： 2007年 10月～2008年 9月
第 4 回： 2008年 10月～2009年 9月
第 5 回： 2009年 10月～2010年 9月
第 6 回： 2010年 10月～2011年 9月
第 7 回： 2012年 4月～2013年 3月
第 8 回： 2013年 4月～2014年 3月
第 9 回： 2014年 4月～2015年 3月
第10回： 2015年 4月～2016年 3月
第11回： 2016年 4月～2017年 3月



N O	県 名 国 名	団体名	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回	第 10 回	第 11 回
海外													
105	中 国	NPO法人 環境資源保全研究会			●	●							
106	中 国	ひふみや[自然農法]					●						
107	カンボジア	World Assistance for Cambodia and Japan Relief for Cambodia									●	●	●
108	インドネシア	日本インドネシアNGOネットワーク			●								
109	バングラデシュ	NPO法人 日本下水文化研究会			●	●	●						
110	ベトナム	社団法人 国際海洋科学技術協会			●	●	●						
111	ミャンマー	認定NPO法人 ブリッジ エーシア ジャパン			●	●	●						
112	ミャンマー	認定NPO法人 アジアチャイルドサポート											●
113	ネパール	NPO法人 ミランクラブジャパン							●				
114	ネパール・東ティモール	NPO法人 ウォーターエイドジャパン										●	●
115	フィリピン	NPO法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン								●			
116	フィリピン	NPO法人 イカオ・アコ									●		
117	インド	認定NPO法人 日本水フォーラム											●
118	インド	DEEPAK FOUNDATION											●
119	モザンビーク	モザンビークのいのちをつなぐ会										●	●

Global Environmental Vision

グローバル環境ビジョン

水と地球の、あしたのために。

創業以来、水の大切さを心に刻んできたTOTOグループ。
私たちはあらためて、資源としての「水」を見つめ直しています。
「水資源の枯渇」や「地球温暖化」が深刻さを増すいま、果たすべき責任とは、何か。
それは、ただひとつ。水まわりからの環境貢献に全力をそそぐことです。
蛇口をひねる。シャワーをあびる。繰り返されるまいにちの中で
誰でも節水、CO₂削減ができる、優れた環境性能の商品を世界にお届けする。
グローバル環境目標に「水資源の保全」を追加し、一日も早い実現を目指していく。
地域、地域に寄り添った活動の先に、地球のよりよい「あした」が待っていることを願い
TOTOグループ一丸となって取り組んでまいります。



あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO

